

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 4月 15日

事業所名 きらめき大湾

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	1		・利用児が一つの部屋に集まらないようにしている。	整理整頓して子ども達が過ごせるスペースを確保する。
	2	職員の配置数は適切である	4	3		・ヘルプのいらぬ職員で業務したい。	配置基準に沿った配置になっています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	3		・車イス等の子どもがいない為、よくわからない。	転んでもケガをしないように、パズルマットを敷く。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7			・年間行事計画を作り、仕事の見える化を行っている。	毎月目標を振り返りし、改善に向けた行動を起こしていくことが大切。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	2		・毎年アンケートを取っている。	保護者様からのご意見を、真摯に受け止め、日々の業務改善に努めていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	3		・毎年公開している。	・公開していることを保護者さまにも伝達していこうと思います。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	4		違う部署の職員に評価をして貰っている。	評価された内容を、業務改善に努めていきたいと思ひます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7			・研修動画を見ている。 ・3ヶ月に一回、事業所内で事例などを元に支援の方法などを勉強する機会がある。	今後も事業所、会社研修、外部研修などに参加して、支援の質の向上に努めていきたいと思ひます。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	1		・毎年計画書更新のタイミングに再アセスメントしている。	今後も時間を作って、保護者面談を行っていききたいと思ひます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	1		決められたアセスメントシートで毎年確認している。	その子に合ったアセスメントシートを作成できたらいいと思ひます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7			・それぞれに合わせている。	毎月チームで話し合い、活動プログラムを作成している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7			毎月担当により変更している。	職員や児童の意見も参考にしながらプログラムの考案をしていききたいと思ひます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	1		長期休みは、1日に運動面、学習面、社会性面を活動内容に取り入れている。	長期休みの活動プログラムのレパートリーを増やしていききたいと思ひます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7			・毎月活動プログラムの見直し、支援計画確認を行っている。	個別活動、集団活動のレパートリーをさらに増やしていけるように、職員で勉強会などを行っていききたい。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7			・昼礼をしている。	昼ミーティングの中で支援のリハーサルを行っていききたい。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7			・終礼をしている。	終礼で支援の振り返り、反省点をふまえて今後の支援に活かしていききたい。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			・毎日担当により、児童記録日報を作成している。	記録を分析して今後の支援向上に繋げていききたい。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7			・相談員さんと連携をしている。	相談員にも積極的に事業所側からも関わっていい、利用者様の最善の利益になるような計画書立てていききたい。

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	4	3		・ガイドラインの基本的活動に合わせたプログラ	ガイドラインを定期的に読み返していきたい。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7			・児発管の研修を受けている者が参加している。	管理者、児発管と連携を行いながら、担当への指導を行っていききたい。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7			・担当により学校の情報を行っている。トラブル時は早急に対応している。	今後はミス無く学校行事の把握と連絡調整を行っていききたい。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	5		・当事業所では医療的ケア児の受け入れは行っていない。	医療的ケアが必要な児童に対して法人内で対応している事業所を説明案内をしていく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	4		・児童発達支援事業所等さんとの連携を行っている。 ・相談員さんを通して情報を共有している。	連携した後も、半年後、1年後などの経過を報告していききたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	2		・保護者さま同意の上、情報をまとめて共有している。	卒業後もフォローアップできるように事業所と連携して行きたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	1		・研修などに参加している。	研修の要望や地域での課題などを共有して相談していききたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	7			・活動プログラムに組み込んでいる。・毎月1~2回、地域の児童館を利用している。	地域の児童を巻き込んでイベントなどの交流を行っていききたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	3	1	・出来るときに参加している。	年に一度は定期的に参加していききたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	2		・帰りの申し送りや、モニタリング会議、LINEなどで連携を取っている。	写真や動画などを使ってさらにイメージしやすいように伝え、課題の共有などを行っていききたい。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	4		・村が開催する、ペアレントプログラム講師研修へ参加した職員がいます。	ペアレントプログラムの講師として運営していききたい。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	2		・契約時に保護者面談のときに、説明を行っている。	引き続き丁寧な説明を心掛けていきます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	1		・事業所側からも定期的に困り感などはないですか？と声をかけている。	いつでも悩みを相談できるような体制作りをしていききたい。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6	1		・感染予防を徹底した上で1月に親子交流会を開催した。	年に2回以上は保護者会を開いていききたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	1		・苦情ボックスを設置している。 ・苦情があった場合は、迅速に対応している。	今後も引き続き丁寧かつ迅速な対応をしていききたい。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	1		・毎月活動プログラムの内容を発信している。・ブログも3か月に一回発信している。	ブログ以外にもSNSでの発信で日々の活動を発信していききたい。
	35	個人情報に十分注意している	7			・鍵付きの書庫に入れて保管している。	ホームページなどの写真関連にも個人情報に注意していく。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			・意思の伝達は必ずしも言葉とは限らないよ伝えられている。	視覚的に写真などを使って情報を伝達していききたい。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	6		・避難訓練の際は、アパート住民の方に知らせている。	コロナも落ち着いてきたので地域に開放して行きたい。また児童館交流で仲良くなった子ども達などを事業所へ招待したい。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	1	・玄関先にマニュアルを置いてある。	マニュアルを遂行するために、緊急対応訓練を行っていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		・年に2回消防訓練を行っている。	年間計画にあらかじめ予定しておく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		・年に数回虐待の研修を行っている。	日々の支援を振り返り、不適切な支援をしていないか職員間で共有していく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	1	・事前に同意書、契約書で説明。	毎年契約書の内容の振り返りを行っていきたい。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	1	・アレルギーがある子は家庭の指示のもと対応している。	家庭との連携を密にして、毎年確認していく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7		・毎月ヒヤリハットがないか確認している。	ヒヤリハットの事例から業務改善に繋げていきたい。